

自己点検・評価シート

学校法人フジ学園

実施日：令和2年9月14日

責任者：校長 奥戸 類

令和2年9月14日（月）、校長、事務局長および外部評価委員2名による自己点検・評価を実施した。

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等			評価
1	1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	5
2	1-2	教育理念が学生に提示され周知されているか	5
3	1-3	学校の将来構想を抱いているか	4
4	1-4	理念に基づく教育が行われているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

産学融合の精神を生かし、自主性・創造性を養い、知識・技能を高め、礼儀を重んじる教育の推進に努めることが重要である。教育理念は各教室に掲示し周知を図る。

<課題>

社会のニーズの変化や、将来を想定した理念・目的であるかの検証を、継続して行う必要がある。

2. 学校運営			評価
5	2-1	運営方針は定められているか	5
6	2-2	事業計画は定められているか	5
7	2-3	運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
8	2-4	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	4
9	2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
10	2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
11	2-7	危機管理体制、コンプライアンス体制は整備されているか	4
12	2-8	情報公開が適切にされているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

引き続き本年度の各努力目標を明確にすること、理事会等との連携を深め、効率的・円滑な学校運営ができるように意思疎通を図ること。外部委員による客観的評価と、学校webによる情報公開がなされた。

<課題>

今年度前半は、新型コロナウイルスの影響が大きく、当初予定していた事業計画の見直しや、感染予防に対する環境整備や予算配置が急務となった。学生への負の影響がでないよう、学校運営に取り組むことが重要

3. 教育活動			評価
13	3-1	カリキュラムは教育理念にそって体系的に編成されているか	4
14	3-2	授業評価や進級、修了の判定実施・評価体制は明確であるか	5
15	3-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
16	3-4	成績評価は適切に行われているか	5
17	3-5	資格取得等について計画的にカリキュラム策定や指導体制が確立されているか	4
18	3-6	キャリア教育に関する指導体制は整っているか	4
19	3-7	教員の育成計画は十分か	4
20	3-8	専門分野の知識習得や指導力向上のため、研修等への取り組みはされているか	4
21	3-9	非常勤講師との指導力連携や、報告体制は十分であるか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>	
引き続き社会・時代の変化に対応できる特色あるカリキュラムの編成・組織・体制づくりを強化し、職員研修の深化に努める。新型コロナウイルスの影響下でも、遠隔授業の積極的な取入れにより、授業計画を例年通り実施することに努めている。	
<課題>	
資格取得については外部団体の試験中止等により、学生のチャレンジ機会が失われたケースがあるが、再開時に取得率を上げるよう教育活動を行うことが重要。	

4. 学修成果			評価
18	4-1	就職指導は十分におこなわれ、進路について適切に把握しているか	4
19	4-2	資格取得について目標を立て実践されているか	4
20	4-3	退学者や不登校者に対する取り組みがされているか	3
21	4-4	パンフレットやホームページ等で就職実績を公表しているか	5
22	4-5	就職率に目標を設定しているか。	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>	
<ul style="list-style-type: none"> 各種検定等の養成・促進を図り、各学年終了するまでに指定の検定に合格できるように努める。 個々の学生の学習活動を保証し、中途退学者をなくするように開発的・予防的なカウンセリング活動行い、事前防止に努める。 	
<課題>	
必須な資格検定について、社会のニーズと学生への取り組み状況をタイムリーに検証し、毎年反映させることが必要である。また、新型コロナウイルスの影響による、企業募集活動の状況把握も今年度は重要となる。	

5. 学生支援			評価
21	5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4
22	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
23	5-3	学生の心身の健康管理・事故・怪我に対する支援体制があり、有効に機能しているか	5
24	5-4	学生の生活環境（学生寮含む）への支援は行われているか	5

25	5-5	防災や緊急時における体制が整備され、有効に機能しているか	4
26	5-6	卒業生への支援体制はあるか	3

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

日本人学生だけではなく、留学生も含めて進路・就職指導を充実させることが重要である。また、学生寮もあるので、常時緊急時を想定し連絡網を整えている。卒業生については、就職先だけではなく、どのような支援がつかれるのか、情報収集することが必要。

<課題>

卒業生の状況調査（就職先、在職状況等）については、継続して情報を収集する必要がある。

6. 教育環境			評価
27	6-1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	4
28	6-2	学校で使用する教材は適切か	4
29	6-3	学習効率を高めるための環境整備がなされているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

継続して細かい設備の点検を行い、必要な施設環境・設備について補修や購入を行っている。今年度は遠隔授業に伴う機材の購入や、感染予防対策としての備品購入への予算配分を急遽実施している。

<課題>

学校や、教室だけではなく、学生が自宅等（外部）から遠隔授業に参加する場合の機材や設備、また環境を継続して整える必要がある。

7. 入学者の募集			評価
30	7-1	学生の受入方針は定められているか	5
31	7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	5
32	7-3	学生募集活動において、学校情報は正確に伝えられているか	4
33	7-4	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
34	7-5	適正な定員設定及び在籍者数になっているか	4
35	7-6	授業料は適切か	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

引き続き学校情報や入学選考に係る情報を、特に高等学校の進路部や進路担当の教職員に丁寧に説明し伝える。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、感染防止としてwebによる説明会の実施や、遠隔での個別説明の機会をとりいれている。

<課題>

特に遠隔での説明の機会では、希望者が理解・納得しているかの十分な確認が必要。

8. 財務			評価
35	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
36	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
37	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	5
38	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>			
引き続き財務基盤の安定に努める。予算・収支計画については、本年度は新型コロナウイルスの影響による、遠隔授業の実施、感染防止対策等への配分が急務となったが、学生への影響がないよう継続して努めている。			
<課題>			
下半期についても、学生の教育環境整備を最優先課題とし、収支計画（修正も含め）を継続していくことが必要。			

9. 法令遵守			評価
39	9-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか（留学生）	5
40	9-2	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
41	9-3	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
42	9-4	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	4
43	9-5	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
44	9-6	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4
45	9-7	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>			
留学生については在留資格等を含め、入国管理局の指導のもと、適切に管理・指導を行うことが求められる。また、学生の個人情報も、システム上や紙資料もより一層適切に管理することが必要である。			
<課題>			
外部人材による点検・評価を継続して行い、法令、設置基準に沿った運営に努める。			

10. 地域貢献・社会貢献			評価
46	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
47	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

今年度は、新型コロナウイルスの影響が大きく、地域のイベントやボランティア活動の機会が失われている。学校周辺を含めた清掃活動等は継続しているが、地域の活動が再開された後、具体的な取り組みや、活動への参加を検討したい。

<課題>

遠隔システムを用いての活動参加や協力ができないか、今後検討が必要である。

11. 組織について

評価

48	11-1	設置者、経営担当者は定められた要件に適合しているか	5
49	11-2	日本語学校の規模に応じた組織となっているか（日本語コース）	5
50	11-3	教員組織について、校長、教務主任及び教職員の職務内容と責任は明確であるか	4
51	11-4	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質は明示されているか	4
52	11-5	事務組織について生活指導責任者、入管事務担当者が定められ責任が明確であるか（留学生を含む）	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

教員組織、事務組織ともに職務内容の精度と効率を上げ、教育目標の達成への不断の努力を継続している。

<課題>

各専門分野における教職員の知識や能力を、ワンチームとして（学校全体）まとめあげる取り組みを、継続して行う。

12. 安全管理・危機管理について

評価

53	12-1	健康・衛生面について指導體制が整っている	4
54	12-2	学生全員が国民健康保険に加入し、留学生保険にも加入しているか（留学生）	5
54	12-3	学生が重篤な疾病や障害にあった場合の対応方法を準備している。	4
55	12-4	感染症発生時の対応方法を整えている	4
56	12-5	火災、地震、台風や気象警報等の災害時の対処方法を定めている。	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

消防訓練の実施等、災害に備えた緊急体制を整えているが、点検・確認を継続することが求められる。留学生も含めて、事故や病院加療、入院等の情報が、学校教職員が連携して把握できる体制を維持されている。新型コロナ感染対策についても、継続して十分な対策をしてほしい。

<課題>

今回のコロナウイルスによる感染防止等について、監督庁と連携し、的確にまた迅速に対応することが必要となる。本校の緊急体制も点検し、充分に対応が可能な体制に整備していくことが重要となる。

13. 成績・進級・卒業判定について			評価
57	13-1	成績の判定基準が明確に定められている	5
58	13-2	成績の判定基準を学生に明示している	5
59	13-3	進級および卒業判定が適切におこなわれているか	5
60	13-4	留学試験、日本語能力試験等の結果を把握しているか（留学生）	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

成績の判定基準は、入学式のオリエンテーションをはじめ父母面談等でも適宜説明がなされている。進級および卒業判定についても、3社面談等をおとして丁寧に説明等をしたうえで適切におこなわれている。

<課題>

継続して、進級および卒業の成績基準を満たすために、学生の成績状況を常に観察し、必要な学生には早期の段階から十分な指導を行うことが求められる。

14. 納付金について			評価
61	14-1	入学検定料、入学金、授業料等の納付金について金額・納付時期を明示している	5
62	14-2	学費以外の必要となる経費を明示している	5
63	14-3	学費返還については、関係法令等に基づいて規定され明示している	4
64	14-4	上記の項目について、学生の理解できる言語で説明および情報を提供している	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

募集要項により入学検定料、入学金、授業料の額および納付次期の明記を確認。学費以外のテキスト・教材費および諸検定費等の明記を確認。

<課題>

留学生については多国籍化しているので、英語、ベトナム語、ロシア語だけではなく、学生の母国語での募集要項の整備も継続していく。